真岡市行政評価システム
評価対象年度　平成30年度

事務事業マネージメントシート

作成日　平成31年 05月 15日

事務事業名	老人クラブ支援事業	担当	健康福祉部　いきいき高齢課　高齢者福祉係
政策名	C　思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり	増補版施策名	
施策名	5　高齢者の自立と社会参加の支援	■ 実施計画上の主要事業	
関連個別計画		事業期間	□ 単年度のみ ■ 単年度繰返（開始年度　昭和38　年度～） □ 期間限定複数年度（　　年度～　　年度）
法令根拠	老人福祉法		
予算科目	1.一般会計　3.民生費　1.社会福祉費　3.老人福祉費		
事業概要	高齢者の社会活動を促進し、老後の生活を健全で豊かなものにするため、老人クラブ活動を充実させ、活動を通じて生きがいづくりが促進できるよう支援している。		

1. 現状把握の部　(1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）

30年度実績
老人クラブ連合会へ補助金を交付
平成25年度より活動保険を補助

31年度計画
前年度と同様

⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移

	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	補助金額	千円	5,096	5,028	4,884	4,882	5,036
イ							
ウ							
エ							
オ							

②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等

老人クラブ連合会、単位老人クラブ

⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移

	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	65歳以上高齢者数	人	19,268	19,827	20,331	20,868	21,344
イ							
ウ							
エ							
オ							

③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）

高齢者の親睦と福祉の向上を図る。

⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移

	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	老人クラブ数	ｸﾗﾌﾞ	81	80	79	79	79
イ	老人クラブ会員数	人	2,638	2,583	2,453	2,402	2,402
ウ							
エ							
オ							

④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）

高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進を図る。

⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移

	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	老人クラブ活動により、社会参加と生きがいづくりができた人	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
イ							
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移

				単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	1,831	1,882	1,813	1,853	1,632
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	3,265	3,146	3,071	3,029	3,404
	事業費計（A）			千円	5,096	5,028	4,884	4,882	5,036
	人件費	正規職員従事人数		人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間		時間	79	79	79	79	79
		人件費計（B）		千円	331	328	328	329	329
	トータルコスト(A)+(B)			千円	5,427	5,356	5,212	5,211	5,365

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか。	昭和38年の老人福祉法施行に伴い、高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進を図るため開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？	近年、老人クラブ数と会員数とも減少している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	